

2017

*Invitation to
department of
Plastic surgery
in showa university hospital*

医局員・同門会員

当教室は日本で最大規模の形成外科教室です。全国各地で活躍している先輩方が多数います。

医局員：180名 同門会員：285名

以上のうち **医学博士：179名**
日本形成外科学会専門医：203名
美容外科学会専門医：12名
手外科専門医：5名



出身大学に関係なく入局員を募集しています。
他大学からの入局者も多く、ほぼすべての大学の出身者がいます。

関連病院

同門が300名を超える昭和大学では全国に
約50の関連病院があります。

*九州

熊本： 荒尾市民病院
熊本機能病院
福岡： 聖マリア病院
川崎病院
製鉄記念八幡病院
福岡新水巻病院
佐賀： 佐賀大学医学部附属病院
鹿児島： 今給黎総合病院

*中部

山梨： 山梨赤十字病院
山梨県立中央病院
静岡： 聖隷浜松病院
浜松赤十字病院
沼津市立病院
藤枝市立総合病院
愛知： 西尾市民病院

*東北

福島： 大田西ノ内病院
秋田： 秋田赤十字病院

東京：
昭和大学江東豊洲病院
東京労災病院
東大和病院
東京逵信病院
北品川第三病院
東京共済病院

*関東

栃木： 上都賀総合病院
茨城： 日立総合病院
ひたち医療センター
群馬： 前橋赤十字病院
群馬小児医療センター
高崎総合医療センター

*四国

高知： 毛山病院

神奈川： 昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院
埼玉： 埼玉小児医療センター、新久喜総合病院、
丸山記念病院、永井病院
千葉： 千葉県こども病院、船橋中央病院
千葉県救命救急医療センター
千葉大学医学部附属病院、習志野第一病院

平成29年度新入局員

新潟から福岡まで日本中の大学出身者
8人が入局しました！

全国にわたり約50の関連病院がありますが、
今年度は4人が本院スタート、
4人が外病院（★）スタートです



平成29年度新入局員



勤務病院：昭和大学病院

昭和大学を選んだ理由は、形成外科としての基礎的知識はもちろん、サブスペシャリティを決めるにあたってもどの分野でも症例数には困らないと考えたからです。医局の雰囲気もとても楽しく、アットホームです。是非一度見学にきてみてください。

吉原糸美

出身大学：東京女子医科大学

初期研修病院：東京警察病院

勤務病院：昭和大学病院

元々昭和大学出身でもあり、形成外科の幅の広い分野に惹かれ入局しました。日本全国どこにもない雰囲気の良さを実際に目の当たりにしてください！入局したくなりますよー。見学お待ちしております。

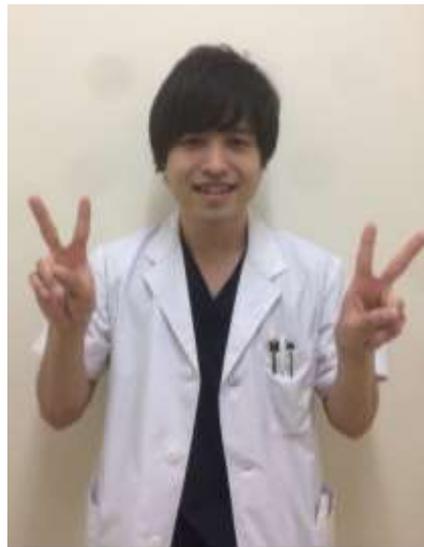
宮本東和

出身大学：昭和大学

初期研修病院：浦添総合病院



平成29年度新入局員



勤務病院：昭和大学病院

学生時代にポリクリで形成外科の手術に魅了されてから、この道を志そうと決意しました。昭和大学に入局を決めた理由は、自分の出身校であっただけでなく、全国に多数の関連病院を持ち、多くの症例を経験できることに魅力を感じたからです。上級医の先生方は教育熱心ですし、若手の先輩方は皆フレンドリーなので、とてもアットホームな医局だと思います。ぜひ一度見学にいらしてください！

藤橋政堯

出身大学：昭和大学

初期研修病院：昭和大学横浜市北部病院

勤務病院：西尾市民病院

病院の特徴：上級医1人と2人体制です。自分の外来を週2日させていただいており、commonな疾患の対応を一通り経験できます。褥瘡や外傷、レーザー治療なども行っております。

昭和大学を選んだ理由：初期研修で、昭和大学関連病院の今給黎総合病院で形成外科を学び、魅力に触れ、形成外科を専門にしたいと思うようになったのがきっかけです。関連病院が多く、症例数が多い点や病院見学の際に医局の雰囲気が良かったので昭和大学に入局を決めました。

西村 怜

出身大学：鹿児島大学

初期研修病院：鹿児島大学

(協力病院：今給黎総合病院)



平成29年度新入局員



勤務病院：聖マリア病院

病院の特徴：専門医3名、専攻医4名の7人体制です。年間約1000例の手術件数があり、外傷、先天性疾患から慢性創傷管理まで幅広い症例を経験できます。

昭和大学を選んだ理由：歴史があり、関連病院、症例数、入局者数が多く、多くの刺激を受けて学ぶことと、医局の雰囲気良かったからです。

香月健亮

出身大学：久留米大学

初期研修病院：福岡記念病院

勤務病院：今給黎総合病院

病院の特徴：専門医2人と、自分を含めた専攻医3人の5人体制です。切断指などの緊急性の高い外傷から、口唇口蓋裂などの先天異常、septic shockまで幅広い症例を勉強しています。上の先生方はいつも丁寧に教えて下さり、忙しいながらも、日々勉強し続けられる病院と思います。

昭和大学を選んだ理由：全国に関連病院があり、幅広い分野におけるプロフェッショナルの先生の手技を間近で見れる機会を得られること。また、同期や年の近い先輩が多く、常に刺激を受けることができます。

簗原沙和

出身大学：神戸大学

研修病院：浜の町病院



平成29年度新入局員



勤務病院：新久喜総合病院

病院の特徴：専門医(指導医)1名、専修医2名の計3人体制の病院です。2次救急病院でありながら、年間6000代を超える搬送台数は驚異的と言えます。無論、その中には、豊富な頭部、顔面、四肢の手術が必要となる外傷が存在し、非常に充実した研修が可能です。また、病院自体が若く、とても勢いがあるところも魅力です。

昭和大学を選んだ理由：広範な分野に及び形成外科の研修において、研修が可能な病院が多いということは、とても大きなメリットとなると考えています。それぞれの病院では、多くのスペシャリストの先生方から、多様な手技を学ぶことが出来ます。私自身は、将来的に先天異常の専門家になりたいと考えているので、その点でも非常に魅力的な大学でした。

櫻井裕基

出身大学：新潟大学

初期研修病院：鶴岡市立荘内病院

勤務病院：昭和大学病院

昭和大学形成外科教室は日本最大規模！！
関連病院が多く症例数を多く経験できるのが魅力です。
上級位の先生方も多く、困難な症例に遭遇しても気軽に相談できます。

自分の理想とするDrと必ず出会える。
それが昭和大学形成外科。

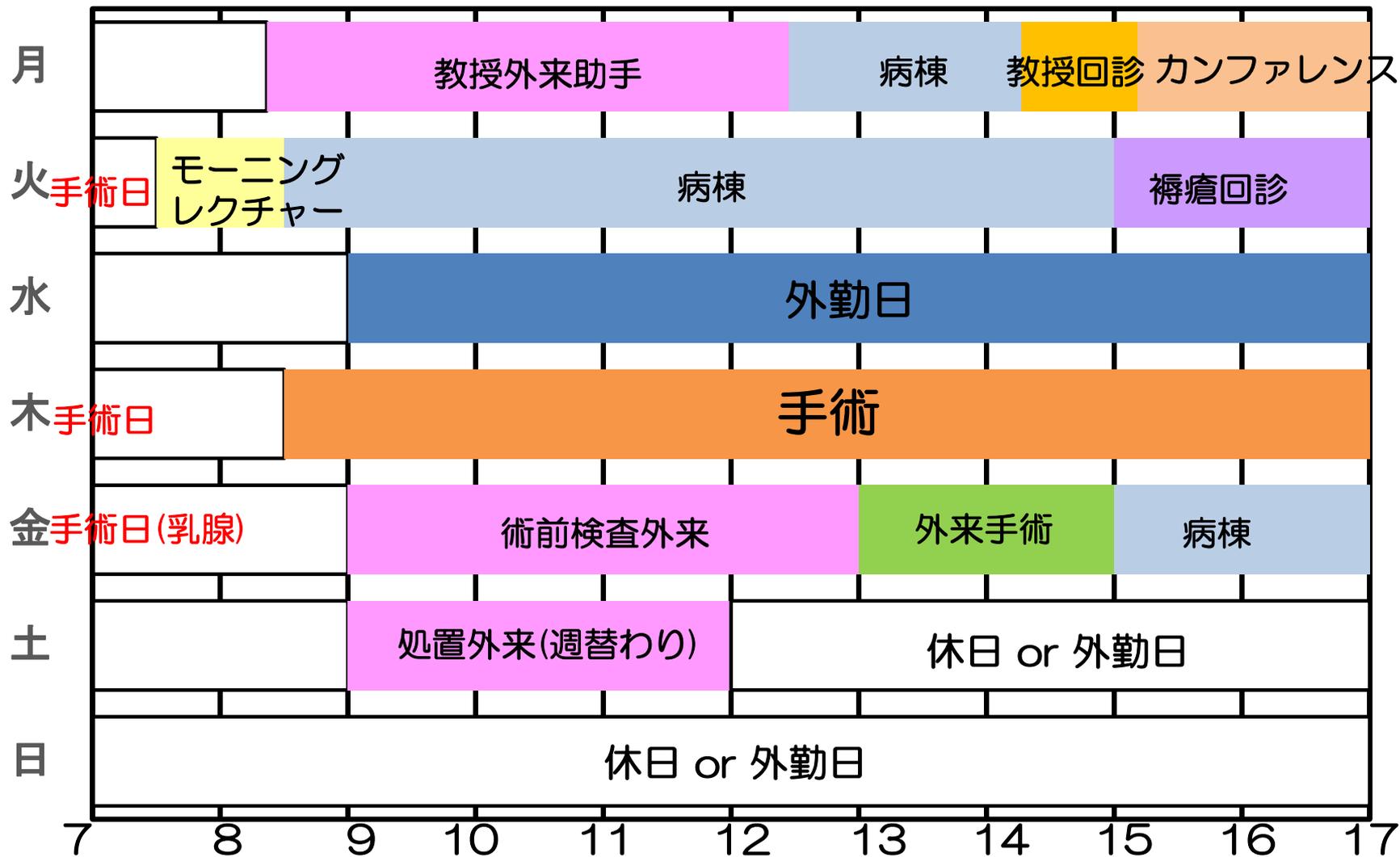
前波芳周

出身大学：浜松医科大学

初期研修病院：名城病院

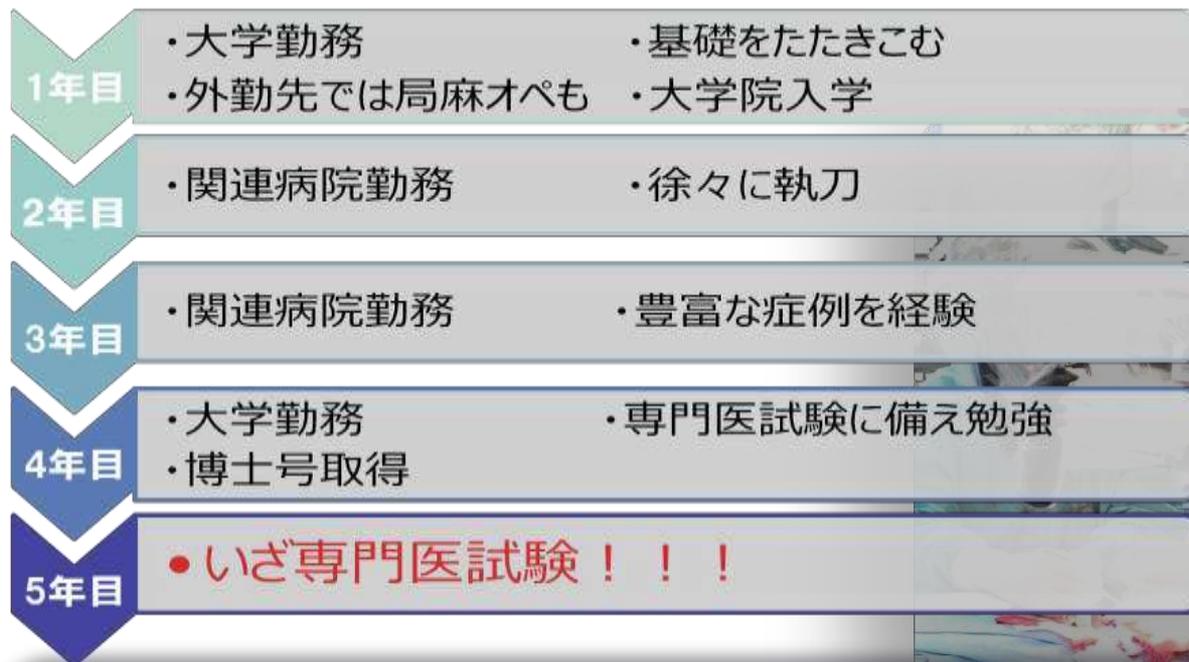


大学病院での週間業務



* 外来手術は月～金の午後に患者様の都合に合わせて予定されます。(時)

専門医への道



当医局員過去5年間 合格率95%！！

当医局の研修医プログラムの詳細は
[こちらをクリックしてください](#)

入学・卒業について

- 入学試験は春季・秋季の年二回あり、入学希望者には簡単な英語の試験が課されます。
- 入学は任意ですが、最近の3年間の入局者の多くが入学しています。
- 卒業には4年次終了までに大学院での授業単位+学位論文が必要です。
- 必要な単位は大学での勤務中に取得することが可能です。

研究内容

- 口唇口蓋裂の統計学的研究
 - 口唇裂初回形成術における boneless bone graftの研究
 - 人工埋入物の組織学的研究
 - 培養皮膚を用いたレーザー照射後の修復過程の研究
 - 虚血再灌流障害における皮弁の研究
 - 微小血管吻合における添加剤のおよぼす血流変化の研究
 - 乳房再建後の乳房の左右対称性の計測
- Etc...

2017年 昭和大学形成外科 手術件数

	入院手術	外来手術	合計
★先天異常			
唇裂・口蓋裂	412	12	424
その他の先天異常	69	15	84
★乳房再建			約270
外傷			
顔面骨骨折	45	2	47
その他の外傷	6	11	17
腫瘍			
良性腫瘍（レーザー治療を除く）	70	263	333
悪性腫瘍	81	35	116
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	20	32	52
難治性潰瘍	14	5	19
炎症・変性疾患	11	51	62
美容（手術）	16	13	29

唇顎口蓋裂は
 ・全国の1割強
 ・東京都の約半数
 の症例数を有しています

2010年にプレ
 ストセンターが
 開設されてか
 ら、乳房再建の
 件数も年々増え
 てきています

業務風景

教授回診



カンファレンス
(オペ前症例提示、デザイン等を検討)



手術室にて

医局行事の様子 他



納涼会
於 カレッタ汐留



オグズ先生講演
(現Uludag University教授)



ハンズオンセミナー

医局旅行



2016ハンズオンセミナー



持針器の持ち方など基礎から説明



豚足を用いて縫合実習。
医局員が手取り足取り指導します!!



形成外科の魅力を語る黒木先生

2016.5.14第1回ハンズオンセミナーが行われました。
医学部生、研修医の先生 計18名が参加して下さり大盛況でした。

次回は2016.7.23参加者募集中です!!



マイクロサージャリーの練習もできます



顔面骨のプレート固定を体験

最後には吉本先生から修了証授与



[その他の写真はこちら>>](#)

留学生、海外医療支援活動

留学生：148名 28ヶ国 (1973年以降)

現在、母国で教授として活躍されている先生方

U.S.A.、アルゼンチン、イタリア、インドネシア、内モンゴル、エクアドル、エジプト、オランダ、カナダ、韓国、キプロス、ロシア、スペイン、セルビア、タイ、台湾、中国、トルコ、パキスタン、ハンガリー、フィリピン、ブラジル、フランス、ベルギー、マダガスカル、南アフリカ、メキシコ、ルーマニア、イラク

title	Name	job title	department	institution	country
Professor	Jean-Marie Servant	Professor	Plastic Surgery	University of Paris	France
Professor	Mehmet Oguz Yenidunya	Professor	Plastic Surgery	Uludag University	Turkey
Professor	Dragos Pieptu	Professor	Plastic Surgery	Vice Rector, Gr. T. Popa University of Medicine and Pharmacy	Romania
Professor	Alain Danino	Professor	Plastic Surgery	Universite de Montreal	Canada
Commandar	piyoros preeyanont	Commandar	Plastic Surgery	Royal Thai Naval Hospital	Thailand
Professor	Chaula SuKasah	Professor	Plastic Surgery	University of Indonesia	Indonesia
Professor	Raphael Sinna	Professor	Plastic reconstructive and Aesthetic Surgery	University Hospital Amiens	France
Professor	Ali Teoman Tellioglu	Professor	Plastic Surgery	Yildirim Beyazit University	Turkey
Director	Radoje Simic	Director	pediatric plastic surgeon	Institute for mother and child health care of Serbia	Serbia

海外医療支援活動

●マダガスカル共和国口唇口蓋裂協力

手術適応時期に治療を受けられなかった子供たちに治療を行います。

●Operation smile や ArTra への参加

上記活動団体の一員となり、世界各国で治療を受けられない人たちに無償で医療を提供します。



昭和大学形成外科には、毎年全国から沢山の先生方が見学にこられます。

ここでは、見学にこられた先生方から良く頂戴する御質問内容の一部と、その答えを示しましたので、御覧下さい。

Q&A① 研修コースについて

- 当形成外科は、全国において大学病院を含め約50の関連施設を有しています。レジデントの多様化の志向、ライフスタイルの変化（結婚、妊娠、出産など）に対応し、いくつかの研修コースをご用意しています。（全国コース、東京コース、関東コース、九州コースなど）各コースの詳細内容は見学时、担当者にお聞きください。
- コース設定は、変更可能ですが、円滑な運用を行うため、ご希望は早めにお知らせください。

Q&A② 最初の勤務地について

- 最初の勤務地は原則、大学病院の本院となりますが、近年、入局者数増加のため、大学病院の分院や医局関連施設より始まる場合も多いです。
- 例えば、九州コースのレジデントは九州の関連病院より研修を開始したり、東京コースのレジデントが大学病院の分院で開始したりする例があります。
- H28年度の入局者紹介、および関連病院のページを参考にしてください。

Q&A③ 専門医取得について

- 大学病院、関東の関連施設だけでも、最短期間で専門医試験に合格できるだけの症例を集めることは十分可能です。
- ただし、都市部の施設より、地方の施設の方が、直接診療に携われる症例の数や執刀機会が多く、治療計画策定において任される裁量の範囲も広いいため、手術や診療技術の習熟度が高い傾向があります。
- ライフデザインは人によって様々であり、必ずしも全てのレジデントの先生方が研修効率を優先したローテーションを希望する訳ではありません。私どもは、入局される先生方の将来設計に役立つキャリアパス作りをお手伝いしたいと願っています。

Q&A④ 専門医取得後のキャリアについて

- 専門医資格取得後においては、診療科長などのポストを得ることができるチャンスも地方の施設の方が多く、当医局では、大学病院で教職員スタッフ（講師以上）として継続的に後進の指導を行う医師には、原則として、診療科長あるいはそれに準じた臨床経験の習得を求めています。

Q&A⑤ 医局とのコミュニケーションについて

- 地方病院での勤務が長くなるにつれて、医局とのつながりが薄れる心配はありません。定期的に、納涼会、忘年会、同門会、医局旅行などを開催しており、医局員の皆さまには、ぜひこれらの機会を利用し、主任教授と医局長などに近況をお知らせいただきたいと思います。
- 関連病院での勤務や労働環境に関するご相談は、勤務先の上司がお受けしますが、相談しきれない場合は遠慮なく医局長にご相談ください。

Q&A⑥ 給料・福利厚生について

- レジデントの先生に仕事と研究に専念していただけるように、入局の人数に関係なく、全員に適正な収入を確保できるように配慮しています。
- 大学病院においては、平日外勤日、平日夜間、土日などの祝日を利用し学外の医療施設での当直業務が主な収入源となります。
- 関連病院においては、その病院の規定により異なりますが、一般に大学病院よりは高額であり、平日や休日の出張を必要としなくなるものがほとんどです。引っ越し費用は赴任先の病院の規定により異なります。一般に遠隔地の施設のほうが、福利厚生は良いようです。

最後に

- 当医局は入局の意思表示の時期、出身大学により、医局員の処遇に差をつけることは一切ありません。これは当医局の伝統であり、皆平等に研修していく環境作りに努めます。
- 見学は随時受付しております。
詳細は
「当医局ホームページ→入局案内」を御覧ください。

<http://www10.showa-u.ac.jp/~prsurg/>